

庭塚小学校だより 庭塚っ子NO. 28

～ みんなで創る どこにもない 魅力的で 楽しい学校～

令和元年10月15日

発行者

庭塚小学校長 渡邊かほる

各地に甚大な被害をもたらした台風19号。命をなくされた方や行方不明の方、家が浸水したり土砂崩れにあったりした方々を思うと心が痛みます。本校体育館は、10月12日夕方から10月13日朝まで、避難所が開設され、28名ほどの地域の方が避難されました。幸い校舎内外に大きな被害はありませんでしたが、災害への備え等に不備を痛感いたしました。今後、子どもたちと共に、改めて確認してまいります。ご家庭でも、「災害時の約束」など話していただければ幸いです。



答えは一つではない～たくましく生き抜く力～

生活科・総合的な学習の時間

今年度、庭塚小学校では「生活科・総合的な学習の時間」において教科等の学びを生かして、身近な課題を解決していく力や友達と協働的に取り組み、納得解を見付けていく力など、これからの時代に大切な力を育てています。

1年生 生活科「水で遊ぼう」

前の時間に、1年生全員で、ペットボトルに水を入れて遊んだ子どもたちは、今度は、水を使った他の遊びをしようと話し合いをしました。「水でつぼう」「金魚すくい」「シャボン玉」「色水遊び」などたくさんの遊びが出てきた中、自分で選んだ遊びのグループになり、どんな工夫をしたらよいかについて話し合いました。

「〇〇を持ってくるよ」「△△も作ろう」など友達の話真剣に聞いて自分の意見を付け足したり、提案したり、協働的に取り組む力を発揮していました。忘れないようにメモが必要と自由ノートに書き出す班もあり、自ら学ぶ姿が見られ、頼もしい1年生です。



2年生 生活科「動くおもちゃ」

2年生は、空き箱や牛乳パックなどを使って、風やゴムの力で「動くおもちゃ」を作り、仕組みの不思議さを見付けたり更に改良を加えて遊んだりしました。

この日は、「幼稚園生を招待するのに、どうすればよいか」について、友達と話し合ったり、実物を見て考えたりしました。「点数を決めよう」「違う大きさにしよう」「〇〇を使うといいかな」など、幼稚園生に楽しんでもらうために、真剣に話し合い、友達と協働的に取り組む力を発揮していました。



5年生 総合「共に生きる」

5年生は、福島県立視覚支援学校の先生2名をゲストに迎え、「目の見えない人が困っていることは何か」について考えました。オリンピックパラリンピックの学習で、障害者スポーツを知ったことから、繋げた学習でした。「ほとんど何でもできるよ。」「助けてもらえないと困るかな。」「目の見えない人を見て変な人と思わないでね。」などという言葉に、真剣に耳を傾けていました。すばらしい人との出会いで、子どもたちの考えは、広がりそして、深まっていきました。

